

「十期生の歌」は 同級生の作詞、作曲です

暫く歌われていませんでした。

今日は、しっかりと歌って、覚えて

今後も歌って行けるようにしましょう

十期生の歌

作詞 宮崎 健
作曲 河田都紀子

あ あ せいれつ の あ さ かぜ に わ か
さ さ ば う の ゆ め た く し
た む る こ と な き し ん じ つ の ふ め つ の い の ち と め り き て ぞ い
ぞ う こ こ に は や と と せ わ が
す み こ う に ひ か り あ れ

十期生の歌

- 一、あゝ清冽の朝風に
若き希望の夢たくし
絶ゆることなき真実の
不滅のいのち尋めゆきて
星霜ここに早や十年ととせ
わが住高に光あれ
- 二、かの落月の夢のこと
樂しき春は老いやすし
われら天地の糧となり
高き光を人の世に
かざし示さむその日こそ
我が住高にほまれ勲あれ
- 三、仰げば高くつき冴えて
時を導く星影の
瞬きごとに湧き出する
真摯の気魄身に浴びて
不朽の真理守りゆく
わが住高に栄あれ

演奏曲目 歌と箏演奏 中村双葉

一、「文楽の幻想」 作曲 船川利夫

本来は歌 箏 十七弦 笛の編成の曲です
歌は左記の四場面から成り

- ・ 野崎村の段 お染久松
 - ・ 三十三間堂 棟本(むなぎの 由来
 - ・ 忠臣蔵 おかる勘平
 - ・ 一谷嫩(ふたば 軍記
- 熊谷陣屋の段
を抜粋して演奏します

二、「旅愁変奏曲」 編曲 初代中村双葉

短くカットして演奏します

初代双葉は来年 生誕百二十年です。

～生田流家元 中村双葉さんのこと

琴の音を子守唄のようにつ育つ環境であり、7歳の時から本格的に琴に触れた。爾来、父を師匠として琴を習う。18歳、父とともにNHKのTV劇場、特別番組銀河ドラマ等の劇伴を通じて、演奏家、作曲家としての機微を学習・体得できそれが自身その後の大きな財産となった。

37年大学卒業を境に師匠の指導が一層厳しくなった。父の継承の思いを感じ、自身も直々の厳しい指導にたえ覚悟決め、昭和45年、師匠没後、生田流家元2世を襲名した。30歳であった。昭和48年「第一回葉風会定期演奏会」を開催以後毎年開催。葉風会は昭和10年初代が創立し現在87周年を迎える。

他に、伝統音楽に関する演奏会に出演や、東京、北海道から西日本の各地の葉風会支部での指導に尽力、その活動が評価されて、グリーンリボン賞をはじめ数々の表彰を受けた。また、自身の作品集や、古典名曲集などの演奏CDなども多くリリースしている。令和2年5月5日に、初代中村双葉生誕百二十年葉風会演奏会が開催される。また、中村双葉2世を襲名して50年になる。この機を葉風会は“心で弾くんだ”という 初代からの宝物を弟子とともに、さらに琴の音に磨きをかける意気込みでいる。心からのエールを送りたい。